

# 宇陀市立病院から

## ■内科からのお知らせ



4月に新しく常勤医師となった先生を紹介します

さとう まさとし  
佐藤 公俊 医師

資格：日本内科学会認定内科医

先生より一言：昨年4月より非常勤医師として勤務していましたが、今年4月から宇陀市立病院の内科に常勤医師として勤務することになりました佐藤です。引き続き地域の医療に貢献できるように頑張りますので、よろしくお願いします。

診療日：佐藤医師の外来診察は毎週月・水曜日です。

## ■糖尿病教室のご案内

【6月の予定】

5日(木) 低血糖、足のケア、体調が悪くなった時(シックデイ)の対応について (第6回)

【時間】午後1時30分～ 【開催場所】北館2階栄養指導室

## 看護部のご紹介 (患者様の気持ちになって)

現代社会において核家族化やIT化が進み、人とコミュニケーションをとることが苦手な人が多い中、看護師は全て人との交わりの中で仕事をしています。私は、日頃から「専門職の看護師である前にまずは、当たり前前の方が、当たり前前にできる社会人であることが最も大切です。」と伝えています。そして「挨拶が笑顔でできる」「決められたことが決められた方法でできる」「自己の健康管理ができること」これは、どこの社会でも当たり前前のことだと話しています。

看護の看は「手・目」の文字でできています。手で患者様に触れ肌で感じ取り、目でしっかりと観察をする。自分自身の五感を最大限に使って、24時間365日患者様の回復に寄り添い護理、手当を施すことが看護の基本であると、私は考えています。

先輩看護師から言い伝えられた「看護は観察から」簡単な言葉に聞こえますが、患者様にどれだけ向き合っているか、どれだけ患者様を知っているか、(生まれてから現在までを、自宅での生活を)このことを知った上で、専門職の目で患者様を観察し行動を読み取り、各々に合った方法で回復へ導いていく。看護職は、人が命を授かった時からその人らしく終焉

## ■市立病院職員募集(随時採用)

### ○非常勤医師(消化器内科・呼吸器内科)

報酬：年俸制、1100万～1700万円(税込)

※指導医・専門医等優遇します(要相談)。

手当：各種手当は年俸に含まれています(退職金はありません)。

業務内容：外来診療・病棟管理・当直業務

経験：卒後5年以上 勤務日数：週4～5日

当直：月3～4回

休日：土・日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)

待遇：有給休暇、各種保険完備、学会参加費補助、院内保育(昼間)

提出書類：履歴書、医師免許の写し、保険医登録票の写し

### ○理学療法士(正職員)3名

対象者：昭和54年4月2日以降に生まれ、理学療法士の資格を有する人

採用試験：小論文・面接 試験日：後日連絡します

提出書類：履歴書、資格証明書の写し

### ○作業療法士(正職員)1名

対象者：昭和54年4月2日以降に生まれ、作業療法士の資格を有する人

採用試験：小論文・面接 試験日：後日連絡します

提出書類：履歴書、資格証明書の写し

### ○診療放射線技師(パート)1名も募集中です。

★問い合わせ・申し込み：市立病院経営企画課へ

(土・日曜日、祝日を除く午前9時～午後5時)

今回は、宇陀市立病院の看護部長 西岡令子氏に看護師としての患者様に接する心構えについてお聞きしました。

を迎えるまで、全てにおいて携わることのできる職業であり、一番身近に関わることのできる仕事であると思っています。

病院という社会の中で、患者さんにとって最も良い結果を得るために、多職種がチームを作り、各々の専門職が個別の関係を蓄積して成果を生む取り組みもすでに始めています。看護師として当たり前前のことですが「看護師さんが辛い時に声をかけてくれて気持ちが落ち着いた。」「何もいわずにそばにいてくれて安心できた。本当にありがとう。」など、患者さんから頂いた言葉は私達のエネルギーの源となり、励み、誇りにもなっています。

市民の方と触れ合うことができることに感謝し「和顔愛語」で優しさと思いやりの心を持ち続け、専門職として患者様に寄った看護ができますよう、引き続き指導をしていきたいと思えます。

看護部長

西岡 令子

